

第 6 回 岡崎市スポーツ推進計画策定委員会 議事録

日 時：令和 3 年 2 月 24 日（水） 14：00～15：30

場 所：岡崎市役所 東庁舎 2 階大会議室

出席者：（委 員）堀越哲美委員（会長）、上原三十三委員、三井政昭委員、杉山まゆみ委員、
土赤光宏委員（欠席：廣美里委員）

堀越委員及び上原委員はWEB会議システムでの参加

（事務局）社会文化部 手嶋部長

スポーツ振興課 山田課長、高木副課長、平松係長、音羽係長、稲吉係長、
小川主任主査、波田野主査、野田主査、西田主事
一般社団法人地域問題研究所 春日、押谷

資 料：次第

資料 1 パブリックコメントの結果

資料 2 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画（最終案）

資料 3 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画（概要版）

資料 4 スポーツ施設配置整備方針中間見直しの概要とスケジュール

資料 5 中間見直しにあたっての主な論点とアンケート質問項目

資料 6 スポーツ施設配置整備方針アンケート調査票

1 あいさつ

堀越会長（内容省略）

手嶋部長（内容省略）

2 議題

審議事項 1 第 2 期岡崎市スポーツ推進計画（案）について

(1) パブリックコメントの結果

・事務局より資料 1 を説明。

事 務 局 ・ 5 年前に、計画の中間見直しを行った際のパブリックコメントでは意見は 0
であったが、今回は 4 名の方から 8 件の意見をいただいた。

・施設整備等についての個別具体的な意見が多かった。結果として、意見を受けて直接的に計画を変更した部分はなかったが、貴重なご意見であり、今後のスポーツ施策の推進に活かしていきたい。

・なお、今回の「パブリックコメントの結果」の資料は、氏のホームページ上で公開していく予定である。

堀越会長 ・スポーツ推進計画はスポーツ施策の方向性を示す大きい枠の話であるが、今回のパブリックコメントのご意見はかなり個別具体的な細かい部分でのご意見も出ている。個別具体的な内容は施設配置整備方針の方で反映していくということを、市民の方にご理解いただけるように工夫していただきたい。

(2) 第2期岡崎市スポーツ推進計画（最終案）

- ・事務局より、資料2を基にSDGsとの関連の記述、新型コロナとの関連の記述を説明。資料3を基に概要版について説明。その後、教育委員会から意見聴取を行うことを説明。

三井委員 ・SDGsについて、私自身が十分に承知していなかったが、計画の冒頭にしっかりと記載いただいた。これまでこの委員会で検討してきたことと十分にマッチしているという印象を持った。

杉山委員 ・5回に渡る検討を経て、よい計画ができあがったと思っている。
・14頁と15頁の文中に出てくる、図表2-2、図表2-3は、それぞれ図表2-12、図表2-13の誤りではないか。確認いただきたい。

事務局 ・訂正する。印刷の前に改めてこのような誤りがないか確認する。

土赤委員 ・本計画に基づいて、実践されていくことを期待するところである。
・40頁で追加いただいた文章について、新型コロナウイルス感染症のような事態に遭遇した場合であっても、「その対応策を講じながら」計画の推進に努めると加筆いただいた。これは大切な文言だと思う。

・スポーツ施設整備方針の中でも、この考え方は取り入れて行ければと思う。

上原委員 ・土赤委員のご指摘された部分は私も大切と感じている。新型コロナウイルス感染症のような問題が生じるとスポーツや文化的な活動は非常に厳しい状況を迎える。難しい状況であっても対応し向き合っていくという姿勢が示されていてよいと思う。

堀越会長 ・最終案に関してはポイントが4つである。SDGsとの関係を明確にしたこと、総合計画との関係を明記したこと、新型コロナウイルス感染症のような事態への対応姿勢を示したこと、そして資料編を追加したことである。かなりしっかりとした計画になったと思う。

・ほかに意見がなければ、計画の最終案について委員会としての採決を行いたい。事務局提案について賛成委員の方は挙手をお願いしたい。

（出席の委員全員挙手）

・皆さんから賛成をいただくことができた。本日も指摘があったように、事務局の方で誤字・脱字、図番号、表現の揺れ等をチェックしていただきたい。

・また、3月の教育委員会において修正が必要となった場合にはご報告をいただくこととしたい。

・委員の方々に対しては、足かけ3年にわたりご審議いただいたことに感謝を申し上げたい。併せて岡崎市民がスポーツを通じて活躍されることを祈念して、審議事項2に移りたい。

審議事項2 岡崎市スポーツ施設配置整備方針の中間見直しについて

(1) 見直し作業の概要とスケジュール

- ・事務局より資料4を説明。

堀越会長 ・ご意見、ご質問をいただきたい。

杉山委員 ・資料4-5に記載されているのは、スポーツ振興課が管轄する公共スポーツ施設ということであるが、教育文化施設に位置づけられる子どもの家は対象と

なるのか。

- ・資料の1頁には、「配置整備方針の対象」の中で、「市民がスポーツを実施するその他の施設等の状況も勘案していく」とあり、子どもの家の活動状況もアンケートの中で調査していくことになるのか教えてほしい。

事務局 ・子どもの家も子どもにとってスポーツの場となっているので、そうした部分も意見としては考えていくべきかと思う。

- ・整備方針としては、スポーツ振興課の管轄するスポーツ施設を対象としていくが、その他の施設等の状況も含めて検討はしていきたいと考えている。

杉山委員 ・大人の方も、学校開放施設と同じくらい利用されている。卓球台は学校体育施設にないので、子どもの家に取り合いになっている。

- ・アンケートでは含めて検討していただけたらと思う。

堀越会長 ・コミュニティセンターのような施設も把握していただきたい。

土赤委員 ・資料4-6に市内の民間スポーツ施設があがっているが、東大友町にトランポリン専用の施設ができているので、それも加えたらどうか。

三井委員 ・資料4-5をみてもわかるように、公共スポーツ施設としてプールがない。
・かつて水泳は授業でも部活でもやっていて非常に活発だった。夏場の子どもの健全育成にとって有益で、泳げることは大切なことだった。今は部活がなくなり、プール開放もなくなってきて、泳げない子が増えている。

- ・民間のスイミングクラブはあるが、整備方針を検討する中では、プールについても含めて考えていかななくてはいけないのではないかなと思う。

事務局 ・未整備施設の一つとして、プールも検討すべき対象となる。

杉山委員 ・スポーツ推進委員協議会でマレットゴルフにも取り組んでいる。かつて岡崎市内にマレットゴルフ場ができるという話を聞いたことがあるが、現状はどうなのか。

事務局 ・かつて仁木町の方で計画があったが、敷地が狭く利用勝手がよくないとか、河川法の制限等の関係でできなかった。

- ・まだ、対外的にお話できる段階にないが、検討は進めている。

上原委員 ・中間見直しの目的は、これまでの成果・問題点を確認して方針を改定することと考えている。これまでの成果と問題点を確認する調査を今から行うという理解でよいかな。

事務局 ・現行の整備方針は10年間を期間としている。中間見直しなので、この5年で施設整備ができていれば課題をクリアしたという評価になる。

- ・アンケートでは市民からの評価を得ようと考えているので、これらの調査を行って、また公共施設の老朽度や稼働率なども確認しながら、方針を策定していきたい。

三井委員 ・アンケートをとるとニュースポーツ系の希望がたくさん出てくる、先ほどのマレットゴルフと同様の意見が出てきたとしても、予算の関係もあり、スポーツ振興課の管轄ですぐにつくりますとは言えないのではないかな。

- ・希望が出てきたときに、どう記載していくことになるのか。

事務局 ・意見や要望を把握しても、この5年間である施設をつくりますと表現するこ

とは難しいが、整備にあたっての優先順位の考え方を、こうした観点で考えていきますといったようなかたちで盛り込んでいくことを考えている。

- ・予算、老朽度など勘案しながら、基準を方針で示していきたい。

堀越会長 ・次の資料を説明して、議論を深めていくこととしたい。

(2) 見直しにあたっての主な論点

- ・事務局より資料5を説明。

堀越会長 ・論点についてのご意見を求めたい。

- ・論点3「スポーツニーズの変化、多様化への対応」、および論点4「施設利用者層の拡大」に関連して、スポーツ振興計画でも記した障がい者スポーツの推進を、論点としてはどう取り扱ってほしいのか。
- ・障がい者スポーツの施設環境については、平成31年1月実施のアンケートでも把握はできていないと思う。事務局の考え方を確認しておきたい。

事務局 ・障がい者スポーツの推進は、スポーツ推進計画でも位置づけている。

- ・現状で、施設のバリアフリーの対応ができていない施設とそうでない施設もある。こうした点も含めて論点3に含めて考えていきたい。

堀越会長 ・施設に到達するまでのバリアフリーもあるが、スポーツを実施するにあたって施設の特性を考慮していく必要が出てくる。

- ・後ほどの議題になるが、アンケートの中でも追加して聞いていただきたい。

上原委員 ・論点3に関して、“多様化への対応”の反対のことも考えていかないといけないのではないか。つまり、スクラップ＆ビルドの、ビルドについて理解を得ることも非常に難しいところではあるが、準備していかないといけないのではないか。

堀越会長 ・“多様化”と特化した“専門化”ということであろうと考える。重要な課題となると思う。

三井委員 ・オリンピック、パラリンピックが実施されると、障がいを持った方々もスポーツに興味を持つようになるのではないかと。ノーマライゼーションの考え方に沿って、健常者と同じようにスポーツができるようにしないといけない。

- ・各競技施設も健常者と障がい者が一緒にスポーツできるようにする必要がある。施設整備では大きな課題となってくるだろう。

事務局 ・今後の検討の中で、含めて検討していきたい。

事務局 ・2020 東京オリンピックでも、2026 アジア競技大会でもパラ大会が開催される。新しい視点として必要であると考えているので、今回の策定の中でしっかりと考えていきたい。

堀越会長 ・前向きに考えていただければと思う。

土赤委員 ・施設整備にあたっては、利用者の視点だけでなく、施設管理者の視点も含めて検討していただきたい。施設の安全面をきちっと確保した上で、安全に利用していただくことも重要な視点となる。

(3) アンケート調査について

・事務局より資料 6 を説明。

杉山委員 ・スポーツ推進委員用アンケートの【問 2】については、学区には複数の推進委員がいるので、個々が回答すると結果がばらつくと思う。学区の代表が回答するようにした方がいいのではないか。

事務局 ・推進委員さんの方で整理していただけるのであればありがたい。

杉山委員 ・今後の活動については、それぞれの推進委員が回答していくことでよいと思うが、現状の取組について異なる回答となってもいけないと思うので、ご検討いただきたい。

事務局 ・相談し対応する。

土赤委員 ・市民用アンケート 5 頁の【問 7】について、文言のことになるが、“箇所数”は例えば体育館の箇所を言っているのか、ここで用いている“量”という言葉が妥当なのか。

事務局 ・“箇所数などの量”とは、数という認識で質問させていただいている。
・わかりにくいようであれば検討し修正したい。

堀越会長 ・一つの施設の中に異なるものがあつたときにわかりづらいということだと思う。精査していただきたい。

・市民用アンケートの【問 2】に(3)スポーツを支えることの注釈として、指導・コーチ、活動のサポート、スポーツボランティアなどとあるが、指導・コーチとボランティアは同列でよいのかという印象を受ける。

・同じく【問 8】で、スポーツをどこで行っているかについて、岡崎市内と市外に分けてたずねているが、市外は、隣接市町村と名古屋のような都市では考え方も変わってくると思う。隣接市町村とそれ以外に分けて聞いた方がよいのではないか。

事務局 ・【問 2】の支えるについては検討したい。
・【問 8】については、今後検討していく上で隣接市町の施設を利用している人が多いということを確認する上でも、分けて考えたい。

上原委員 ・前回行った調査があつたならば、前回との比較分析が可能となるが、前回調査はあつたか。

事務局 ・平成 27 年 12 月から 1 月にかけて、今回と同様に市民向けとスポーツ推進委員向けのアンケートを実施している。
・今回の調査票は、前回の調査を参考にして作成しているが、すべての設問が前回と同じというわけではない。施設の量・満足度などは前回と同様の質問となっているので比較分析はできる。

上原委員 ・前回の調査を行った際の反省点などが整理されているのであれば、それを反映して今回のアンケートを作成するとよい。前回調査を実施した後の記録があれば活用して欲しい。

堀越会長 ・前回調査との比較ができることは重要であるので、ご検討いただきたい。
・市民向けアンケートの【問 11】で、スポーツ施設に求めることの選択肢の一つとして、障がい者スポーツに関するものを追加できないか。

- ・障がい者が健常者と一緒にスポーツに取り組めるとか、ユニバーサルデザインのような選択肢が可能であれば付け加えてほしい。
- 上原委員 ・実施率を上げることと関連して、運動しない人がどのようなサポートがあったら、運動をするのか。そのようなニュアンスのこと盛り込めるとよい。
- 堀越会長 ・施設利用について例えば、歩いて3分であれば利用するが、10分だと利用しないといったようなことだと思う。ご検討いただきたい。
- ・最後に全体を通して意見があれば。
- 杉山委員 ・以前にも触れたことになるが、論点5の「施設稼働率の平準化」に関連して、学校施設の開放は利用者が多いところとそうでないところの差が大きい。
- ・今回の検討の中でこの点についても見直しを図られると理解するが、私のところには5年も前からお願いしているが未だに利用できないでいるという電話をいただく。人口の多い地域でこうした問題が生じている。
- ・地域に密着した学校開放の運営方法については、底辺から見直さないといけないと思う。重要な課題である。実施率を上げるとなると、その点についてもご検討いただきたい。
- 堀越会長 ・そうした点についてはしっかりと現状を把握していく必要がある。また先ほどの土赤委員からご指摘があったように、施設管理者の側からの意見聴取も必要と考える。
- ・このほかにもお気づきのことがあれば、事務局に連絡いただきたい。本日の審議はここで終了としたい。

3. その他

次回の日程等

- 事務局 ・アンケート調査票は3月8日に発送したいと考えている。本日いただいた意見を踏まえ、検討・修正の上、なるべく早い時期に委員の皆様にはお示ししたいと考えている。
- ・アンケートの締め切りは3月24日頃を想定している。次回の委員会は6月を予定しており、その際には調査結果を報告する予定である。

4. 閉会

(15時30分 閉会)